

仙台市内の路上生活者の現状 2020 年

仙台夜まわりグループでは、厚労省からホームレス概数調査の委託を受け、今年 1 月に仙台市内の調査を実施しました。去る 7 月 22 日に公表された結果によれば、宮城県内の路上生活者は 74 名（男 62 名、女 4 名、不明 8 名）、そのうち、仙台市内は 70 名（男 58 名、女 4 名、不明 8 名）でした。

しかし、調査が実施された 1 月の仙台市内は、連日厳しい寒さで、当事者が身を隠すように寒さをしのいでおり、調査の際に目視で確認できなかったいるはずの当事者たちが数字に反映されていません。また、車上生活者、ネットカフェ長期滞在者もカウントの対象外となっておりません。

仙台夜まわりグループの独自調査では、JR 仙台駅周辺の複数のネットカフェに少なくとも 20 名余の若年層が長期滞在していること、郊外に 20 名以上の車上生活者がいることを確認しています。

すなわち仙台市内には、いまだ 100 名を超える人たちが、路上を含む不安定居住の中、不安な日々を過ごしているのです。 私たちが年中無休で開設している相談センター ヘルプ! みやぎ には、路上生活者からは勿論のこと、アルコールやギャンブル依存症で苦しむ人たち、失業や多重債務で生活破綻が迫っているという人たちからの相談が急増しています。彼ら彼女らの「いのちの叫び」に、なんとか繋がっていけるような、組織としての体力づくり、仕組みづくりが急務です。また、路上生活者、生活困窮者を生み出し続ける構造的な問題を看破し、解決に向けた施策の提言を今後も継続していく所存です。

「ホームレスの実態に関する全国調査(概数調査)結果について」 (厚労省ホームページより)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12003000/000649857.pdf>